

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	児童福祉課 保育所担当
------	-------------

事務事業名	地域子育て支援拠点事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	3	民生費	
	基本目標	4. 子育てしやすいまちづくり	項	3	児童福祉費	
	施策	4-1 少子化対策の推進	目	5	保育所等費	
	基本方針	4-1-1 子育てを支える環境の充実	事業	9	地域子育て支援拠点事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをとりまく環境が大きく変容する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。	事業の内容	乳幼児及びその保護者が相互交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標		
	地域子育て支援センター利用延べ人数			R1	R2	R3	R4	
	指標の説明		人	目標	9,000	9,000	9,000	9,000
	地域子育て支援センターは親子で利用するため指標を利用延べ組数とする			実績	8,109	4,760		
関連事業費			R1年度決算	R2年度決算	R3年度予算	市民一人あたりのコスト		
	財源内訳	事業費	32,893,995	36,444,280	33,897,000	R1	870	
		国県支出金	23,508,000	25,482,000	22,598,000	R2	979	
		地方債	0	0	0	各年度4月1日現在の人口		
		利用者負担・その他	0	0	0	R1	37,795	
一般財源	9,385,995	10,962,280	11,299,000	R2	37,243			

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充	縮小して継続	判定理由	子育て中の保護者が育児に心理的な負担感や不安感を持つことなく楽しみながら子育てができるように、地域子育て支援センター事業の整備・充実に努め、子育て世帯が安心して生活できるまちづくりを目指すことが重要とされるため。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	身近な地域で支援を受けることが出来る環境づくりを推進するために、ニーズに応じた活動展開や利用者の拡大に向けての周知活動に努め、更なる情報の提供や支援の紹介などを実施する必要がある。また、実施施設との連携体制を強化し、保護者の相談に応じたり、利用親子同士の橋渡し役となる地域子育て支援センターに従事する支援者の資質の向上を図る指導等にも努めなければならない。
今後の方向性	子ども・子育て支援事業計画の基本目標のひとつである「地域における子育ての支援」の中核的役割を担う地域子育て支援センターは、地域の課題に応じた必要な子育て支援を実施し、保護者が子育てしやすいまちづくりの実現のため、今後より一層整備及び充実に努めていく必要がある。